

理研会報

発行 理科研究部 事務局
〒500-0905 成田市成田5-9-5 成田小学校内

研究学校の紹介

印教連指定 理科研究学校
佐倉市立下志津小学校
研究主題

一部会 植物採集会に参加して 浅心小土口谷美江子

植物採集など、ほとんど縁のない私にとっては、あまり無り気ではありませんでした。ところが、胸乱なるものさびつ下げて、富里オ一小学校へ向かったのです。しかし、これが意外に楽しく私にとって大きなアラスになつたのです。なにげなく見すごして来た雑草と呼ばれる植物に親しむを感じようになり、あらためて自然の神秘を発見させられたような気がしたのである。

頃はちよつと、つゆの中休み、太陽光線が熱く感じられる中、浅野貞夫先生を先頭に十数名の先生方と富里オ一の四年生、六年生の子どもたちを交えた一行は、まず校庭の榎木の名木をさがしに行きました。「学問は楽しみながら勉強して行くもの」と考えています。何でもどろんどろんと歩みながら、葉に親しみやすさを感ぜながら、だん見懐れ、懐き懐れを榎木も、モをとりながら説明を聞いてくれると新鮮な感じを受けるから不思議です。

研究主題設定の理由
現代をたくましく生きぬき、明日を開くことのできる人間づくりが、創造性の育成にある。創造性は、あやふしな想像力、思いつき、確かな探究心、行動の中でこそ育まれる。

子どもは生来自然に對する反応が鋭く、好奇心に満ち、豊かな発想や想像が溢れ、創造性に富んでいるが、未成熟である。その可能性を引き出すことこそ我々に課せられた使命である。

理科は「児童に自らの可能性を出すすべを授けさせる優良の教科」である。そこで本校では理科に焦点を当て、研究に取り組み、主題を解明していきなさいと考えている。

私のすすめたい本


中公新書 二八〇円
それほど気が進まないで書きた本であるが、読みはじめると時を忘れさせる魅力を持つてゐる本である。富里に書いているように「アメリカシロヒトリの解説を目的とした本ではない」なぜこの虫が北米から日本に定着したのか

六年担任の皆さんへ にわたりの卵の入手について

「たまごの成長」の際必要な、生きている卵。受精卵の入手については近くに卵場のない学校では苦労の多いことと思います。また、卵の購入経費についても、グループ6個としても一クラス40-50個必要になり、たいへんなと思ひます。そこで入卵5日目と11日目の卵の成長した卵を無料でもらえる方法をお知らせします。

成田市東金山にある川崎孵化場では、ワクチン用の卵を一室中行なつており、毎週水曜日に出荷してあります。その際、毎回数百個の卵を検査の上発着しています。このうち約半数は無精卵など胚の外殻のみらしいものですが、残りの半数はそのまま解卵器に入れ

孵化で一着大のことは通水を保つこと、33±0.5の範囲に保つこと、音の温度計とくにアルコーの温度計は1-2度くるっているのほあたり守えて、正確な温度計に合わせ補正して使わないといけません。また、卵は少くとも二三日電源を入れ温度調節を行うてから卵を入れることなす。換気孔や水にはそれほど神経質にならなくてもよいし、乾卵も5-15日目までは日2回行ってはしひが、土曜日の夕方乾卵し、月曜日の朝乾卵すれば、日曜にわざわざ出校しなくても大丈夫なす。成田市東金山八六番地 川崎孵化場 電話 成田〇四七六(二二一〇五七五)



成田市教育委員会 中村 敏 敬

るのか? という疑問を解き明かすべく、次々に生まれ出る疑問、仮説、それを検証する実験・観察が比較的平易な文章で述べられていく。幼虫が葉を食って葉団生活をすることの利害、孵化するの仕方、行動は一番暑くともにはじまる。なぜ時々大発生するのかが、卵から更に将来「ヤマトシロヒトリ」が出現する可能性についても論じている。この本の副題の「種の歴史の断面」をアメリカシロヒトリを材料として見ているスケール

は夏休みに入っていると感じます。
○本年度の理科作品展がまじりました。
十月二十七日-三十日 成田小を会場にして開きます。
理科工作、論文、標本の三部門ですが、理科工作と論文は準備にっながりまず標本は那展で終了します。
○実験・観察のくふう「私のすすめたい本」その他何でも準備です。投稿をお願いします。
○休日を考慮して下さる。

あとがき

この会報がお手もとにとどく頃